



***CFA協会リサーチ・チャレンジ2022-2023***  
***国内大会***

***日本CFA協会***

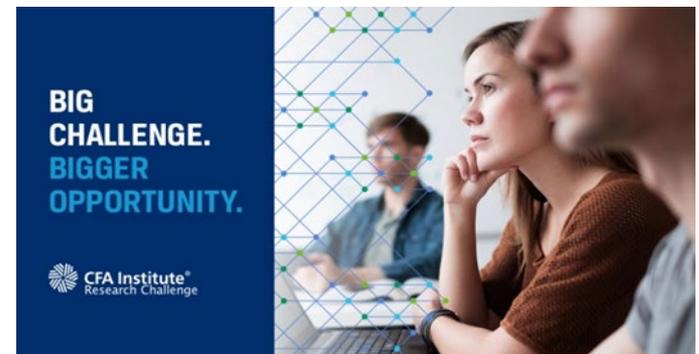


CFA Society  
Japan



CFA Institute

# EXECUTIVE SUMMARY



- **リサーチ・チャレンジ**では、各国におけるスポンサーや分析対象企業の協力の下、開催される、CFA協会がグローバルに注力する学生向けイベントの1つ
- **リサーチ・チャレンジ**は、学生(大学生、大学院生)参加者及び各大学教員、CFA協会会員を中心とした理事、ボランティアなど金融業界のプロフェッショナルによって運営されるイベント
- **主に金融業界を志望する学生**にとって金融理論の実践、成長機会の場であり、また金融業界のプロフェッショナルとのネットワーク拡大につながる機会

リサーチ・チャレンジダイジェストビデオ

(日本語字幕) <https://youtu.be/8QQWiUziL0I>

(英語字幕) <https://youtu.be/7aHmFDkni2w>

# CFA協会とは



**CFA Institute is the premier global  
association for investment management  
professionals**

## ■ 世界最大の証券アナリスト団体

- 会員数 19万人以上
- 資格試験登録者数 29万人以上
- ソサエティ数 150以上

日本CFA協会(会員数:1,300名)を含む各地域の自主運営組織

## ■ 「CFA」資格等を認定

- CFA:証券アナリスト
- CIPM:パフォーマンス評価
- CFA協会投資基礎検定

:基礎知識

### CFA協会(CFA Institute)

- 米国バージニア州シャーロットツビル(Charlottesville, VA)に本部を置く、CFA等の資格を認定するグローバルな非営利団体
- CFA協会の前身であるNFFAS(National Federation of Financial Analyst Societies)は1947年に設立

# CFAプログラムとは

- CFA協会の代表する資格である**CFA資格**、3段階の試験に合格した上、一定の実務経験を経た時に得られる資格を提供する総合的プログラム
  - レベル1： 基本的な投資手法・概念の知識・理解
  - レベル2： 資産価値評価に焦点をあてた分析・適用法
  - レベル3： 顧客ニーズの評価・統合とポートフォリオマネジメント

すべてのレベルで倫理・職業行為基準を重視



# CFA資格：グローバル・パスポート

- 世界中の金融センターにCFA会員・候補が存在
- 世界の金融機関、特に運用会社においてはプロフェッショナル資格として重要な位置づけ

2022年4月25日現在

欧州・中東・  
アフリカ

会員数：44,030  
CFA受験者：54,641

合計

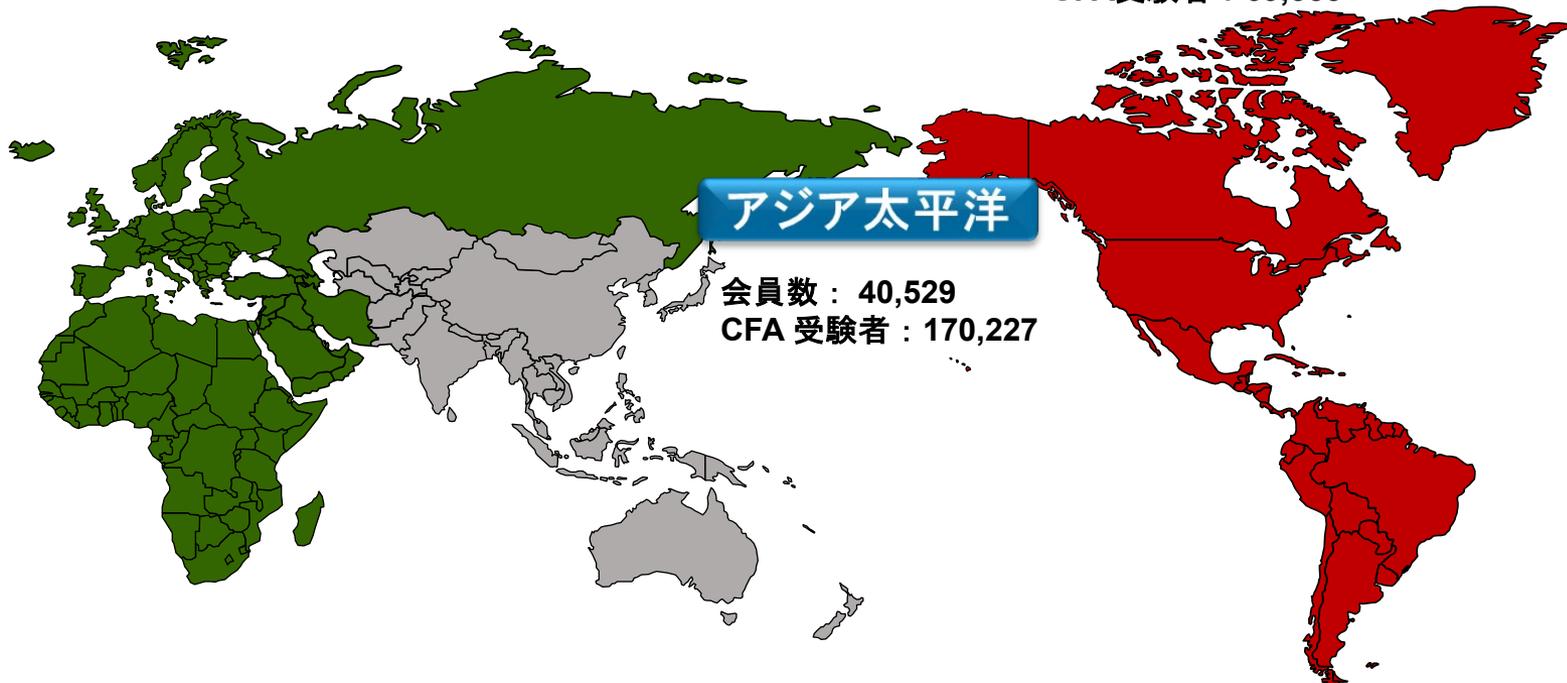
会員数：193,558  
CFA受験者：294,221

北中南米

会員数：108,999  
CFA受験者：69,353

アジア太平洋

会員数：40,529  
CFA受験者：170,227



# CFAリサーチチャレンジとは①



- 金融において重要性が高まっている運用業界において、インベストメントチェーンの各方面で将来の活躍が期待される投資運用プロフェッショナルの育成を目指して、**学生向けに開催される世界的イベント**
- 2006年から開始され、大学代表チームが企業分析の手腕を競い合う
  - 世界各地の約1,100校から6,400人以上の大学生が参加
  - 世界で約4,000人のプロフェッショナルが協会ボランティアとして運営に協力
  - 数カ月～半年に及ぶ長期のイベント
  - 学生チームは、セルサイドのアナリストとして投資家に向けて、分析対象企業の投資推奨を行う設定（アドバイザーからの指導はレポート提出前の10時間に限定、国内大会決勝など各ステージが進むにつれて3時間ずつの追加許容）
  - チーム毎に投資運用のプロフェッショナルがメンターとして指導（1次審査で6時間、国内大会決勝など各ステージが進むにつれて2時間ずつの追加許容）

# CFAリサーチチャレンジとは②



## ■ 国内大会 … 国内企業1社(分析対象企業)について全チームが分析

- 第一次審査: 投資推奨レポート(本文10頁、付録も10頁以内英文)
- 国内大会決勝: アナリストプレゼンテーション(10分プレゼン+10分Q&A、英語)

## ■ アジア太平洋小地区大会

## ■ オセアニア、東アジア、東南アジア、南アジアの各地区大会

- 各国の代表は国内大会での分析企業のレポート(評価の対象とはならない)と録画したプレゼンテーション(10分以内)を提出

## ■ アジア太平洋大会

- アジアから日本を含め約36校が出場(2022年)
- 準決勝(ランダムなブロック分け)と決勝の2段階方式  
(決勝はインターネットでブロードキャストされる、10分プレゼン+15分Q&A、英語)



## ■ 世界大会

- 各地域(アジア太平洋、北中南米、欧州・中東・アフリカ)の優勝校が出場し、世界一を決定(世界大会はインターネットでブロードキャストされる、10分プレゼン+15分Q&A、英語)

# 2021年国内大会参加大学一覧(16大学24チーム)



大学名	指導教官
青山学院大学 A	中里 宗敬
青山学院大学 B	森田 充
青山学院大学 C	亀坂 安紀子
一橋大学 A	中野 誠
一橋大学 B	中野 誠
国際基督教大学	新井 亮一
慶應義塾大学	中妻 照雄
神戸大学	西村 幸宏
京都大学 A	砂川 伸幸
京都大学 B	砂川 伸幸
名古屋大学	清水 克俊
立教大学	石田 惣平

大学名	指導教官
立命館アジア太平洋大学A	CORTEZ Michael Angelo A.
立命館アジア太平洋大学B	Philipp Dean Pardo
創価大学	浅井 学
東京大学 A	植田 健一
東京大学 B	植田 健一
東京工業大学	永田 京子
東京都立大学 A	浅野 敬志
東京都立大学 B	松田 千恵子
筑波大学大学院	大野 忠士
早稲田大学	大鹿 智基
横浜国立大学	森田 洋
横浜国立大学	大雄 智

# 過去の大会実績

年	国内大会(分析対象企業、優勝校(出場チーム数))	世界大会(優勝校)
2006年	—	米ボブソン大学
2007年	—	香港バプティスト大学
2008年	花王、早稲田大学(6チーム)	南洋理工大学(シンガポール)
2009年	ぐるなび、早稲田大学(10チーム)	フィリピン大学ディリマン校
2010年	クックパッド、筑波大学大学院(10チーム)	伊ミラノ工科大学
2011年	フェローテック、青山学院大学(11チーム)	タイ・タンマサート大学
2012年	パーク24、大阪大学(12チーム)	ポーランド・ヴロツワフ経済大学
2013年	サンリオ、東京工業大学(13チーム)	フィリピン大学ディリマン校
2014年	ガリバーインターナショナル、筑波大学大学院(14チーム)	米・カニシウス大学
2015年	楽天株式会社、京都大学(14チーム)	カナダ・ウォータールー大学
2016年	テンプホールディングス株式会社 京都大学(17チーム)	ドミニカ・Barna Management School
2017年	ヤマハ株式会社、筑波大学大学院(18チーム)	スイス・ローザンヌ大学
2018年	TOTO株式会社、立命館アジア太平洋大学(19チーム)	フィリピン・アテネオ・デ・マニラ大学
2019年	株式会社ニチレイ、一橋大学(18チーム)	オーストラリア・シドニー大学
2020年	株式会社ディスコ、一橋大学(19チーム)	ノルウェー・BIノルウェービジネススクール
2021年	ポーラ・オルビスホールディングス 神戸大学・立命館アジア太平洋大学(24チーム)	米・ノーザン・イリノイ大学

# 大会スポンサー企業(2021年国内大会)



CFA Institute®  
Research Challenge

プラチナスポンサー SMBC日興証券株式会社  
ファクトセット・パシフィック

ゴールドスポンサー インベスコ・アセット・マネジメント株式会社  
野村アセットマネジメント株式会社  
ピムコジャパンリミテッド  
東京海上アセットマネジメント株式会社

いっしょに、明日のこと。  
Share the Future



SMBC日興証券

FACTSET



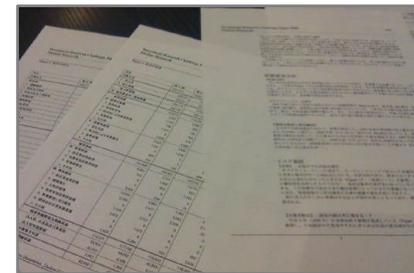
NOMURA  
NOMURA ASSET MANAGEMENT

P I M C O



TOKIO MARINE  
ASSET MGT

# リサーチ・チャレンジ国内大会ルール①



## 【学生チームと指導教官】

- ・ **一つの大学から複数のチームが参加できる。国内大会主催者が決定権限を有する**
- ・ 各大学から選出されたチーム(3-5人)がある企業の投資判断の優劣を競う
- ・ 企業アナリストとしての業務経験がある学生は参加不可とする
- ・ 一度参加した学生は翌年以降の参加は不可とする
- ・ 全チームが同じ企業を分析する
- ・ 分析対象企業は、国内大会キックオフミーティングで発表。
- ・ 優劣の判定は、その企業の分析内容(背景となる経済状況、業界動向等の分析を含む)、レポートの内容、プレゼンテーション、質疑応答等に基づき行われる
- ・ 調査レポートに基づく一次審査を経て、決勝に進んだ数チームによるプレゼンテーション・質疑応答等を加えた最終審査の上、優勝チームを決定
- ・ 大学での指導教官からの助言には延べ助言時間の上限を設ける

# リサーチ・チャレンジ国内大会ルール②

## 【メンター・グレーダー・ジャッジ】



- 各チームに1人ずつ企業アナリストまたは株式ファンドマネジャー(含む経験者)が **メンター**として参加し、助言を与える  
(延べ助言時間には上限を設ける)
- 一次審査で行われる、各チームが作成した調査レポートの優劣の判定は、メンター以外の評価者(**グレーダー**)チームにより行われる
- 一次審査を通過したチームによって、最終審査で行われるプレゼンテーション及び質疑応答の評価・判定は、運用業界での経験と実績を有するプロフェッショナル(**ジャッジ**)により行われる



# リサーチ・チャレンジ国内大会ルール③



## 【分析対象企業】

- 全チームが同じ企業を分析する
- 全チームを集めた分析対象企業のIR担当・経営者による企業報告会（通常のアナリストミーティングと同じ内容）を開催し、その後、各チームとのフォローアップミーティング（1回）を開催

## 【大会の構成】

- 国内大会で優勝したチームはアジア太平洋小地区大会での出場の選択権を獲得（出場辞退も可能）
- アジア太平洋小地区大会を通過したチームはアジア太平洋大会（準決勝および決勝）に進出
- アジア太平洋大会を通過したチームは世界大会に進出



# 主要な参加ボランティアメンバー

2021年国内大会プレゼン審査員



名前	所属、役職
スコット アンダーソン	ラザード・ジャパン・アセット・マネージメント株式会社 ディレクター、ポートフォリオマネージャー/アナリスト
江森 明子	JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社 エグゼクティブ・ディレクター、インベストメント・ディレクター
平野 太郎	カタリスト投資顧問株式会社 代表取締役社長 チーフポートフォリオマネージャー
ズヘル カーン	UBP インベストメンツ株式会社 マネージングダイレクター シニアファンドマネージャー

# 主要な参加ボランティアメンバー

## ボランティアリーダー

役割	名前	所属、役職
メンター	笹本 和彦	ニッセイアセットマネジメント株式会社 経営企画部 NLGIS推進室 室長 兼 ESG推進部 調査役
グレーダー	森 祐二	大和アセットマネジメント株式会社、運用企画部長
	平中 良和	CIO, Kabuto Investments
運営	須藤 研介	Fund Manager, Founder, Intercapital Co., Ltd.

## 日本CFA協会ユニバーシティ担当

理事	王子田 賢史	BNYメロン・インベストメント・マネジメント・ジャパン株式会社、 執行役員 日本株式運用本部長
チェア	有江 慎一郎	アムンディ・ジャパン株式会社、 チーフ・インベストメント・オフィサー／運用本部長 兼 債券運用部長

# 参加学生のメリット



## CFA協会リサーチチャレンジ参加のメリット

- 企業アナリストや株式ファンドマネージャーを目指して金融・財務の分野の学習を進めている学生にとっては、企業調査という実践の場でこれまで学んできた理論を試すことができ、その理論を新たな経験により補完できる機会となります。また、実際に企業調査等に従事しているプロフェッショナルであるメンターや運営ボランティアとの交流も、学生には貴重な財産になり得ると考えております。

## 過去の参加学生の声

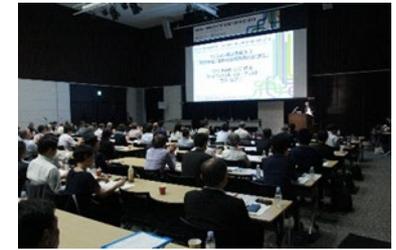
- 「心から参加してよかったと思っています。単純に、知識や分析力を身につけるだけでなく金融のプロとしての姿勢、そして何よりも私たち学生を育てようとしてくれる人としての姿勢を今回身近に強く感じる事が出来ました。将来自分が金融機関で働く際にも、協会の方々やメンターの方々の様にありたいというイメージができました。間違いなく大学4年間で大きく成長した2ヶ月間でした。本当にありがとうございました。」
- 「金融マンとして、人として、とても尊敬できる方だった。メンターの方との出会いはとても良い経験になった。」

# 今年度のスケジュール

(※若干変更される可能性があります。)



日程	
▶ 7月初旬	分析対象企業決定
▶ 8月6日(土)	<b>キックオフミーティング</b> 大学生チーム・指導教官・メンター・グレーダーが参加。 ルール・スケジュール・評価基準の確認、質疑応答を行う。 ここで分析対象企業を発表
	<b>ファクトセットトレーニング</b>
▶ 9月初旬	企業説明会(アナリスト・ミーティング)、質疑応答
▶ 9月中旬	分析対象企業フォローアップ・ミーティング
▶ 9月22日(木)	調査レポート案をメンターに提出
▶ <b>10月20日(木)</b>	調査レポート最終提出期限 グレーダーによる評価作業
▶ 11月4日(金)	一次審査結果発表
▶ 12月3日(土)	最終審査(学生チームによるプレゼンテーションを審査員が 審査し優勝チームを決定)及び表彰式



# 一般社団法人日本CFA協会概要

- 日本におけるCFA 資格者や受験者に対して、専門知識の向上と相互交流の場を提供する非営利組織。倫理規範や職業行為基準、資産運用や調査に関する専門能力の向上と普及をめざし、会員向けに金融市場、財務会計、経済動向などをテーマとした講演会、セミナー、勉強会などを開催しています。また会員相互間の交流会なども行なっています。
  - 設立:1999 年
  - 会員数:1,354名(2022年4月末時点)
  - 代表者:出川 昌人, CFA
  - ホームページ・アドレス <https://www.cfasociety.org/japan/Pages/default.aspx>
- CFA Institute Research Challenge - - - - -
- 担当理事:王子田 賢史
  - チェア:有江 慎一郎, CFA
  - 事務局:中瀬 康彦, CFA・塩澤 由利子



# 一般社団法人日本CFA協会 コーポレートスポンサー社名一覧



- アムンディ・ジャパン株式会社
- アセットマネジメント One株式会社
- ブラックロック・ジャパン株式会社
- ファクトセット・パシフィック
- インベスコ・アセット・マネジメント株式会社
- JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社
- MFSインベストメント・マネジメント株式会社
- 三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社
- みずほ第一フィナンシャルテクノロジー株式会社
- MSCI合同会社
- ニッセイアセットマネジメント株式会社
- 野村アセットマネジメント株式会社
- Nordea Investment Funds S.A.
- PGIMジャパン株式会社
- ピムコジャパンリミテッド
- シュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社
- ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社
- UBSアセット・マネジメント株式会社
- ウェリントン・マネージメント・ジャパン・ピーティーイー・リミテッド

(アルファベット順)